

二か月にも及ぶ休校期間を経て、本日、私達三百十八名は、全員揃って、ここ埼玉県立松山高等学校での生活をスタートさせます。

本日は、新型コロナウイルスによる影響が、まだまだ残る状況にもかかわらず、このような式を開いていただき、ありがとうございます。

私達新入生は今、待ち望んでいた高校生活への希望や期待はもちろんのこと、まだまだ先の見通せないことに対する不安や心配など、様々な感情を抱いています。また、今後高校生として責任や自覚を持った行動をしていかなくてはいけないという緊張感も、大変強く持っています。

この先の高校生活、初めは難しいことや辛いこと、慣れないことがたくさんあると思います。しかし、受験という大きな壁を、さらに、長く辛かった休校期間を共に乗り越えてきた仲間がいることを忘れません。困っている時には助け合い、辛い時には寄り添うといった意識を大切にし、三百十八人全員で、充実した高校生活を送っていききたいと思っています。

高校生としての自覚が薄く、まだまだ未熟な私達ですが、先生方、先輩方から御指導をいただき、立派な「松高生」になれるよう努力していく所存です。

そして、「文武不岐」という建学の精神を心に刻み、これからも継続して勉学に励み、部活動や行事などの諸活動にも、積極的な姿勢で取り組んでいきます。

「松高生」としての誇りを持ち、支えてくれる方々への感謝の気持ちを常に忘れず、九十七年もの間培われてきた伝統に恥じぬよう、互いに高め合い、努力し続けることを誓います。

令和二年六月二十二日

新入生代表 秋丸智哉